



名古屋部会(第 5 回)

| | |
|-------|----------------------------------|
| 日 時 : | 2016 年 2 月 6 日 (土) 15:00 ~ 17:10 |
| 場 所 : | 椋山女学園大学星が丘キャンパス (名古屋市千種区) |
| 参加者 : | 中学校・高等学校・大学の先生方など 10 名が参加した。 |

【内容要旨】

椋山女学園大学星が丘キャンパスの教室を水野先生の手配により会場としてお借りし、第 5 回の名古屋部会を開催した。

第5回の名古屋部会を経済分野の授業の展開や教材の紹介を目的に開催した。最初に経済教育ネットワーク理事長 篠原総一氏 (京都学園大学学長) より経済教育ネットワークや各部会の活動と1月23日の冬の経済教室in東京での宮尾尊弘氏 (筑波大学名誉教授) の講演でのTPP等の現実の経済的な 이슈 (論点) を題材に生徒の経済への興味関心を持たせる方法についてご紹介頂いた。

その後、金子幹夫氏 (神奈川県立平塚農業高等学校初声分校) より1月23日の冬の経済教室in東京での発表を踏まえて、授業での論点の設定やゲーム教材の活用についてお話頂いた。「問い」を明確にしたゲーム教材の活用によって個々の部分の理解を深めて経済の全体像をつかむ授業展開についてご紹介頂いた。

引き続き、伊藤達也氏 (名古屋市立志段味中学校) より経済学習をわかりやすくするための学習プリントや新聞記事の活用についてお話頂いた。生徒には経済は身近なことではなく難しいという先入観があるため、わかりやすい学習プリントや新聞記事によって自分の生活に密着したものであることを認識させることの意義をご紹介頂いた。

両氏とも生徒の意欲を引き出す工夫として生徒の目線に立って身近な問題を活用することの意義や評価の在り方等についてお話し頂いた。

各氏のお話を踏まえた質疑応答では、生徒の理解する現実の経済と教科書に扱われている内容が必ずしも整合的でないことや需要曲線や供給曲線の教え方等について活発な議論を行った。

最後に、水野英雄 (椋山女学園大学現代マネジメント学部准教授) より経済の知識を社会に出て使えるような経済教育のために名古屋部会としても活発に取り組んでいきたいとの依頼があった。

次回については4月23日 (土) に椋山女学園大学にて開催することとした。



篠原総一氏 (京都学園大学)



篠原総一氏 (京都学園大学)



金子幹夫氏 (神奈川県立平塚農業高等学校初声分校)



伊藤達也氏 (名古屋市立志段味中学校)



ディスカッションの様子



ディスカッションの様子

撮影と文責： 水野 英雄

次回開催予定： 2016年4月23日 (土) 15:00 ~17:00に、場所は椙山女学園大学星が丘キャンパス (名古屋市)。議題は、教材の紹介や経済教育の進め方に関するディスカッションほか。